作成方針

資料-5　THEシガパークの目指す姿(イメージ図)について

第４回検討委員会（2026.7.15）での意見のまとめ

・正対で見る図が良い
・琵琶湖の周辺も公園であることが分かる
・公園を焦点にあてたイラスト
・「滋賀県はでっかい公園だ」のイメージ
・細かく具体的でなく、抽象化されたものがいい
・琵琶湖を囲む公園がネットワークになっている
・自然環境やアクティビティを中心に
・抽象的で、おしゃれで可愛くていいなという絵
・滋賀県全体が一つの大きな公園となった姿
等

作成方針

●「滋賀県はでっかい公園だ」の表現のため、県全体を俯瞰できるレイアウトとし、琵琶湖と周囲の公園がネットワークとして繋がっている様子を抽象的かつ親しみやすいタッチで描く。

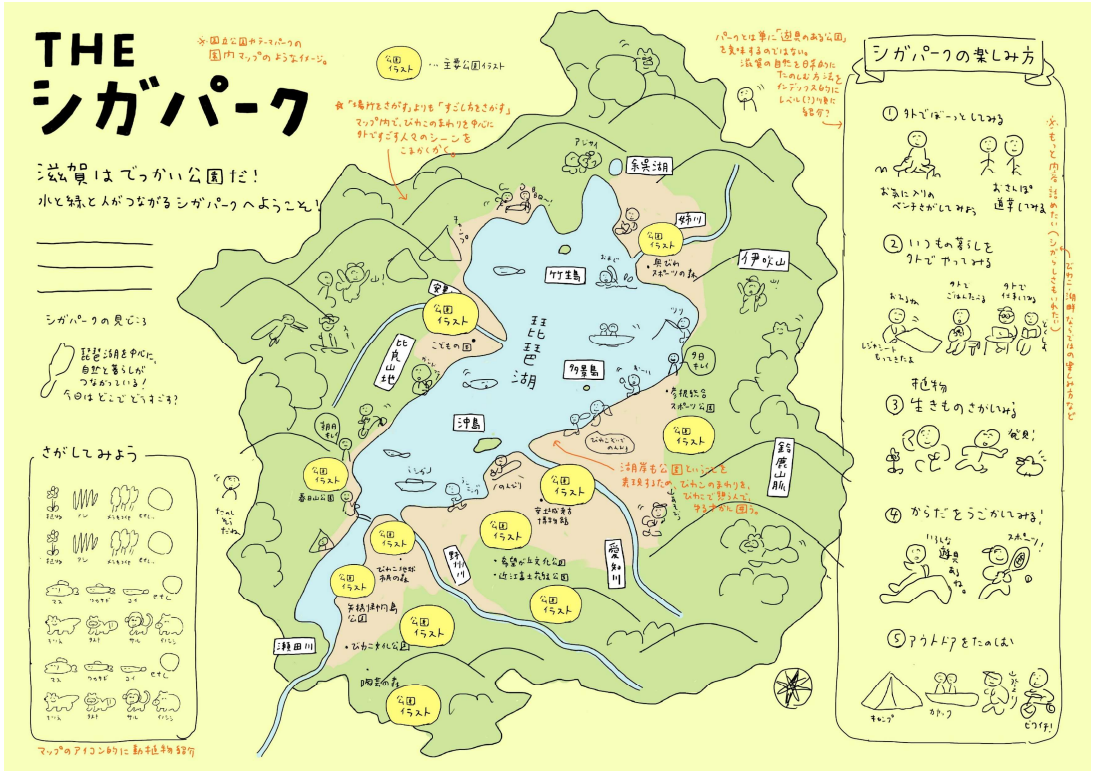
●人々が楽しむアクティビティや豊かな自然環境を主役に据える。

●THEシガパークに行ってみたくなる、ビジョンのワクワク感や親近感が伝わるイラストとする。

作成者：山本ひかる　Hikaru Yamamoto（イラストレーター）

1992年大阪生まれ　滋賀県立大学人間文化学部生活デザイン学科卒業
建築・パン屋・銭湯の現場勤務を経て、現在イラストレーターとして活動中
全国各地のマップをつくっている

イメージ図（ラフ画）



現在イメージ図（ラフ画）に入れていいただいている表現

- **「滋賀県はでっかい公園だ」**というキャッチコピーを一般の人にもわかりやすく表現するため、国立公園やテーマパークの**園内マップ**のような表現としている。
- 公園の「場所を探す」よりも「過ごし方を探す」ものとして、人々の**アクティビティ**を細かく書いていく。
- 滋賀らしさを取り入れた自然を日常的に楽しむ方法を**「シガパークの楽しみ方」**として提案している。
- 湖岸公園を表現するため、琵琶湖周辺で過ごす人で琵琶湖を囲っていく。
- THEシガパークにゆかりのある**豊かな動植物**を紹介している。

今後検討している表現

- 「シガパークの楽しみ方」に、自然を楽しむだけでなく、**ボランティアやイベントなどでのかかわり方**も入れ、**ライフステージごとの活動の様子**が伝わる表現を工夫する。
- マップ内での活動の様子は、公園の特徴をいかした表現とする。
- **県民は日常、県外民は非日常を求めている**というアンケート結果を表現するため、県外から滋賀県へ公園を求めて集まってきている様子を描く。（現在は県外民が滋賀県をのぞき込んでいるイラストを入れている）
- 全てが繋がっているようなネットワークを表現する。

本日の委員会意見を踏まえて　下書き（ラフ画）から清書へ